

隅田川

月姿見

上巻

天保十一年庚子
孟春新刻稗史

式亭小三馬作
香蝶樓國貞画

江戸芳町川岸親父橋角

山本平吉上梓



隅田川武藏名所の第一不し月亦さ野第一の眺あり垣衣
賣の狂言ハ今古虚場の眺とあり花の二番目川毛密を
をり彼正本小摺さるまゝと不見如代の形勢をいさ度阿ん都鳥
ありやねる乃世語或月のむき一の故事ハゆるさる五喜の愛
不嗟替一豊島入用は両家の婚姻宿直之助が色直一乃小袖ハ
女子と三重の帯梅乃薫が九綿もさる優き若衆振の川一
逢瀬よりありも二世乃えんを待乳山包む想ハをもちつふか
るゆきししこ一嵩小截の助と野分姫が恋ハ人目惹かさんたる
挿枕持の舟川の法界が輪廻乃世小むさる鐘が淵の因果物語今茲
初編の六冊を及ぬ筆跡綾瀬川阿るいづる在下ハ藥店の主
両扮両面

天保己亥年孟陽叢販

式亭小三馬戲題



浅いハ文智江戸の水製法の間
深ハ欲氣

入間郡領
武義息女
野分姫

おのり
あつや
あつや



野分姫

名
あつや
あつや

鈴

道具屋甚三
女房
石濱の
濱



三原山
萬霊寺
住侶
船
法
坊

戸

信



子息
主見
水

右衛門
水玉川
家老

綾戸方
之顔

二子
梅子
九代



豊島
左衛門
年久

一子
宿直之助

細君
教之前

越前
関口
賛
太夫



野息
姫

入間郡領
武義

わんえの一



豊島
廢子
清若丸

豊島家の妻花子

子息
賀三郎

わんえの二

○花子の方きよ丸と
つれてある夜きよ丸の
やうをみるの



この世の世
 のろ平入て
 りつて

この世の世
 のろ平入て
 りつて

日へて
 三月の月

三月の月



この世の世
 のろ平入て
 りつて

この世の世
 のろ平入て
 りつて

この世の世
 のろ平入て
 りつて

この世の世
 のろ平入て
 りつて

この世の世
 のろ平入て
 りつて

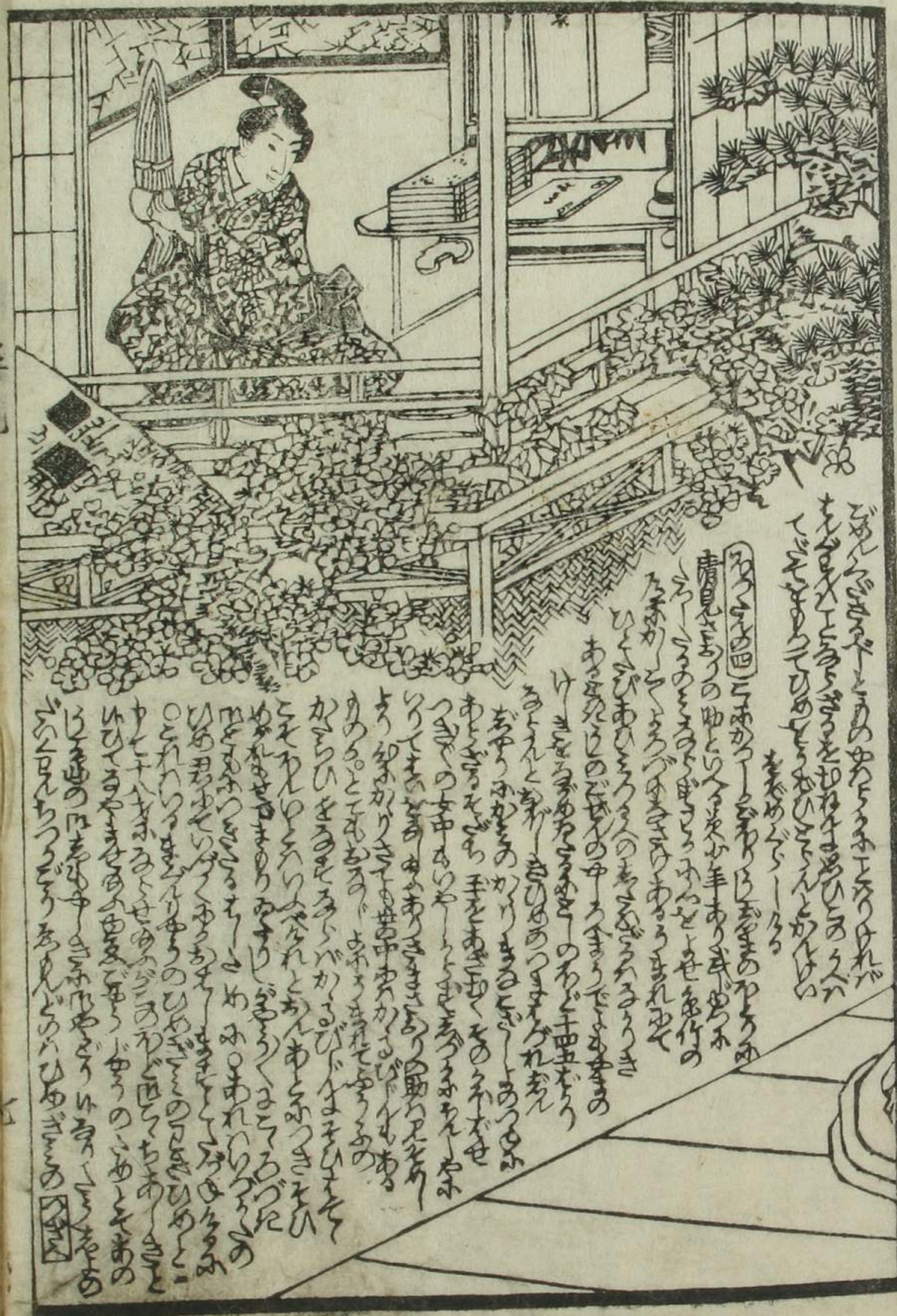
この世の世
 のろ平入て
 りつて

この世の世
 のろ平入て
 りつて

この世の世
 のろ平入て
 りつて

この世の世
 のろ平入て
 りつて

この世の世
 のろ平入て
 りつて



Handwritten text in vertical columns, likely a narrative or dialogue. The text is written in a cursive style (sōsho) and includes various characters and symbols. Some characters are enclosed in small boxes, possibly indicating specific names or actions. The text is arranged in several columns, starting from the right side of the page and moving towards the left.



Handwritten text in vertical columns at the top of the page, above the illustration. The text is written in a cursive style and includes various characters and symbols. Some characters are enclosed in small boxes.

Handwritten text in vertical columns, likely a narrative or dialogue, positioned below the illustration. The text is written in a cursive style and includes various characters and symbols. Some characters are enclosed in small boxes. The text is arranged in several columns, starting from the right side of the page and moving towards the left.

Handwritten text on the right margin of the page, possibly a page number or a reference.



戸
七



戸
七



此の薬は... 月の夜目... 治す... 効力...



此の五... 大里 男爵の三郎... 治す...

今... 豊島... 治す...

此の薬は... 治す... 効力...

小三馬作 國貞画



此の薬は... 治す... 効力...

月水不順を治す各方... 治す... 効力...

百天女丸

此の薬は... 治す...

賣包百廿四文

月への... 治す... 効力... 本家江戸本町三丁目...

本家江戸本町三丁目

式亭三馬製



隅田川
月夜
姿見

中

三
月
廿
四
日



月夜見

十一



隅田川

月姿見

中之卷

式亭小三馬作
香蝶樓國貞画



庚子春

新刻

山

本版

Handwritten text in vertical columns, likely a transcription of a story or dialogue. The text is written in a cursive style, possibly a form of Chinese or Japanese script. It is arranged in several columns, with some characters appearing to be in a different script or dialect.



Handwritten text in vertical columns, continuing the narrative or dialogue from the left page. The text is dense and covers most of the page area, with some characters appearing to be in a different script or dialect.







上女

下

上女

下



月夜

十五



五
谷
月

五
谷
月
の
ま
つ
り
に
あ
り
ま
す
と
い
ふ
は
し
ら
ぬ
と
い
ふ
は
し
ら
ぬ
と
い
ふ
は
し
ら
ぬ

五
谷
月
の
ま
つ
り
に
あ
り
ま
す
と
い
ふ
は
し
ら
ぬ
と
い
ふ
は
し
ら
ぬ
と
い
ふ
は
し
ら
ぬ



五
谷
月
の
ま
つ
り
に
あ
り
ま
す
と
い
ふ
は
し
ら
ぬ
と
い
ふ
は
し
ら
ぬ
と
い
ふ
は
し
ら
ぬ

五
谷
月
の
ま
つ
り
に
あ
り
ま
す
と
い
ふ
は
し
ら
ぬ
と
い
ふ
は
し
ら
ぬ
と
い
ふ
は
し
ら
ぬ

五
谷
月

五
谷
月

Vertical columns of handwritten Japanese text, likely a narrative or dialogue, located at the top of the right page.



Vertical columns of handwritten Japanese text, likely a narrative or dialogue, located on the right edge of the right page.

Vertical columns of handwritten Japanese text, likely a narrative or dialogue, located at the top of the left page.



Vertical columns of handwritten Japanese text, likely a narrative or dialogue, located at the bottom of the left page.

世に希い血の乃の復薬

る 婦人 三養湯

●世にせんをやめさんごあだんごのCummふよー又ありのたつあつとさるるあを
 まてありののさくろあつたふんふんふんふんふんふんふんふんふんふんふんふん
 さんせん月ひさる人あつこののまふく又のちぎんひるえふらうとならふふふら
 そく用あつさんせんごむらふ。大小便はらあふ。かせあるごひさるあひさる
 たぐいさまあつこのえさやまひふらうらう。ふんふんのふんふんふんふんふんふん
 せうぎんまるとまありは薬五月きりより毎月用あつ十月あつちてあんさん
 まるるのうごひあ。ふんふんふんふんふんふんふんふんふんふんふんふんふん
 あつとほつうさほけふとまふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ
 何となくのふなうらう。氣をさほつうまふふ用ひてそくさあふ。ふんふんふん
 け薬の衆の胃をまて血。ふんふんふんふんふんふんふんふんふんふんふんふん
 ばてさんせんのちのちさんふんふんのちのち平生のちのちまふふふふふふふふ
 薬を三養湯とのふ。世にありあつふんふんふんふんふんふんふんふんふんふん
 ちるふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

紅麻袋入 かげん代 百五十文
 ぬり出し 小包代 五十文

本家調合所 彦本町二丁目 小島式亭三馬製

血症一切枕下敷はせむふ眼切あ



小三馬作
 國貞画

あつとほつうさほけふとまふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ
 何となくのふなうらう。氣をさほつうまふふ用ひてそくさあふ。ふんふんふん
 ばてさんせんのちのちさんふんふんのちのち平生のちのちまふふふふふふふふ
 薬を三養湯とのふ。世にありあつふんふんふんふんふんふんふんふんふんふん
 ちるふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ



榮久堂上梓

下

月夜見

三十一

日 下 川

自 下 川 見 下 川

國 下 川 地 画 下 川

山 下 川

下 川

Handwritten text in a vertical column on the left page, likely a transcription or commentary.

Second column of handwritten text on the left page, continuing the transcription.

Third column of handwritten text on the left page, continuing the transcription.







月夜見

奉納

仙女香

京橋坂本氏



Calligraphic text in Japanese and Latin characters, including 'ROMANUS' and 'MARTINUS'.

Handwritten text in the bottom right corner of the illustration area.



Vertical columns of handwritten text in Japanese and Latin characters, including 'ROMANUS' and 'MARTINUS'.

Handwritten text at the bottom of the illustration area, including the number '五十二'.



此の物語は、昔の事である。ある朝、
 山に雲が立ち、霧が降る。一人の僧侶が
 山を歩いている。彼は、遠くから来たので、
 体が冷たい。彼は、木の根元に立ち、
 息を吐く。すると、霧が晴れ、
 美しい景色が現れる。彼は、
 驚き、立ち上がる。そこには、
 美しい女が立っていた。彼女は、
 美しい着物を着て、
 微笑を浮かべている。僧侶は、
 彼女を見て、心をとらわれる。

六



この物語は、昔の事である。ある朝、
 山に雲が立ち、霧が降る。一人の僧侶が
 山を歩いている。彼は、遠くから来たので、
 体が冷たい。彼は、木の根元に立ち、
 息を吐く。すると、霧が晴れ、
 美しい景色が現れる。彼は、
 驚き、立ち上がる。そこには、
 美しい女が立っていた。彼女は、
 美しい着物を着て、
 微笑を浮かべている。僧侶は、
 彼女を見て、心をとらわれる。

六





目次見



目次見



五ノ
六ノ
七ノ
八ノ
九ノ
十ノ

一ノ
二ノ
三ノ
四ノ
五ノ
六ノ
七ノ
八ノ
九ノ
十ノ
十一ノ
十二ノ
十三ノ
十四ノ
十五ノ
十六ノ
十七ノ
十八ノ
十九ノ
二十ノ
二十一ノ
二十二ノ
二十三ノ
二十四ノ
二十五ノ
二十六ノ
二十七ノ
二十八ノ
二十九ノ
三十ノ
三十一ノ
三十二ノ
三十三ノ
三十四ノ
三十五ノ
三十六ノ
三十七ノ
三十八ノ
三十九ノ
四十ノ
四十一ノ
四十二ノ
四十三ノ
四十四ノ
四十五ノ
四十六ノ
四十七ノ
四十八ノ
四十九ノ
五十ノ
五十一ノ
五十二ノ
五十三ノ
五十四ノ
五十五ノ
五十六ノ
五十七ノ
五十八ノ
五十九ノ
六十ノ
六十一ノ
六十二ノ
六十三ノ
六十四ノ
六十五ノ
六十六ノ
六十七ノ
六十八ノ
六十九ノ
七十ノ
七十一ノ
七十二ノ
七十三ノ
七十四ノ
七十五ノ
七十六ノ
七十七ノ
七十八ノ
七十九ノ
八十ノ
八十一ノ
八十二ノ
八十三ノ
八十四ノ
八十五ノ
八十六ノ
八十七ノ
八十八ノ
八十九ノ
九十ノ
九十一ノ
九十二ノ
九十三ノ
九十四ノ
九十五ノ
九十六ノ
九十七ノ
九十八ノ
九十九ノ
百ノ

戸
法
見

十
九

一ノ
二ノ
三ノ
四ノ
五ノ
六ノ
七ノ
八ノ
九ノ
十ノ
十一ノ
十二ノ
十三ノ
十四ノ
十五ノ
十六ノ
十七ノ
十八ノ
十九ノ
二十ノ
二十一ノ
二十二ノ
二十三ノ
二十四ノ
二十五ノ
二十六ノ
二十七ノ
二十八ノ
二十九ノ
三十ノ
三十一ノ
三十二ノ
三十三ノ
三十四ノ
三十五ノ
三十六ノ
三十七ノ
三十八ノ
三十九ノ
四十ノ
四十一ノ
四十二ノ
四十三ノ
四十四ノ
四十五ノ
四十六ノ
四十七ノ
四十八ノ
四十九ノ
五十ノ
五十一ノ
五十二ノ
五十三ノ
五十四ノ
五十五ノ
五十六ノ
五十七ノ
五十八ノ
五十九ノ
六十ノ
六十一ノ
六十二ノ
六十三ノ
六十四ノ
六十五ノ
六十六ノ
六十七ノ
六十八ノ
六十九ノ
七十ノ
七十一ノ
七十二ノ
七十三ノ
七十四ノ
七十五ノ
七十六ノ
七十七ノ
七十八ノ
七十九ノ
八十ノ
八十一ノ
八十二ノ
八十三ノ
八十四ノ
八十五ノ
八十六ノ
八十七ノ
八十八ノ
八十九ノ
九十ノ
九十一ノ
九十二ノ
九十三ノ
九十四ノ
九十五ノ
九十六ノ
九十七ノ
九十八ノ
九十九ノ
百ノ



小三馬作

國貞画

此の巻は、小三馬の筆による、
 月姿見の図である。此の巻は、
 小三馬の筆による、月姿見の
 図である。此の巻は、小三馬の
 筆による、月姿見の図である。
 此の巻は、小三馬の筆による、
 月姿見の図である。此の巻は、
 小三馬の筆による、月姿見の
 図である。此の巻は、小三馬の
 筆による、月姿見の図である。



此の巻は、小三馬の筆による、
 月姿見の図である。此の巻は、
 小三馬の筆による、月姿見の
 図である。此の巻は、小三馬の
 筆による、月姿見の図である。

菊壽童六編 全四冊
 山東庵涼山作
 香蝶樓国貞画

東海道五十三驛編 全三冊
 鶴屋南北作
 一勇斎国芳画

仙女香七変化粧 全四冊
 三亭春馬作
 香蝶樓国貞画

采女兄弟詩繪巻箱 全六冊
 墨川亭雪磨作
 香蝶樓国貞画

美艷仙女香 全四冊
 包平八せん作
 黒油美金香 全三冊
 坂本氏製

隅田川月姿見 全六冊
 式亭小三馬作
 香蝶樓国貞画

若紫東顔見世 全六冊
 五柳亭徳外作
 香蝶樓国貞画

時花歌春連彈 全四冊
 美圖つとみ作
 五雲亭貞秀画

能優樂屋雜談 全四冊
 江都部立川馬作
 越後の怪 香蝶樓国貞画

交地本 錦繪問屋 栄久堂
 江戸町親仁橋角
 山本平吉版

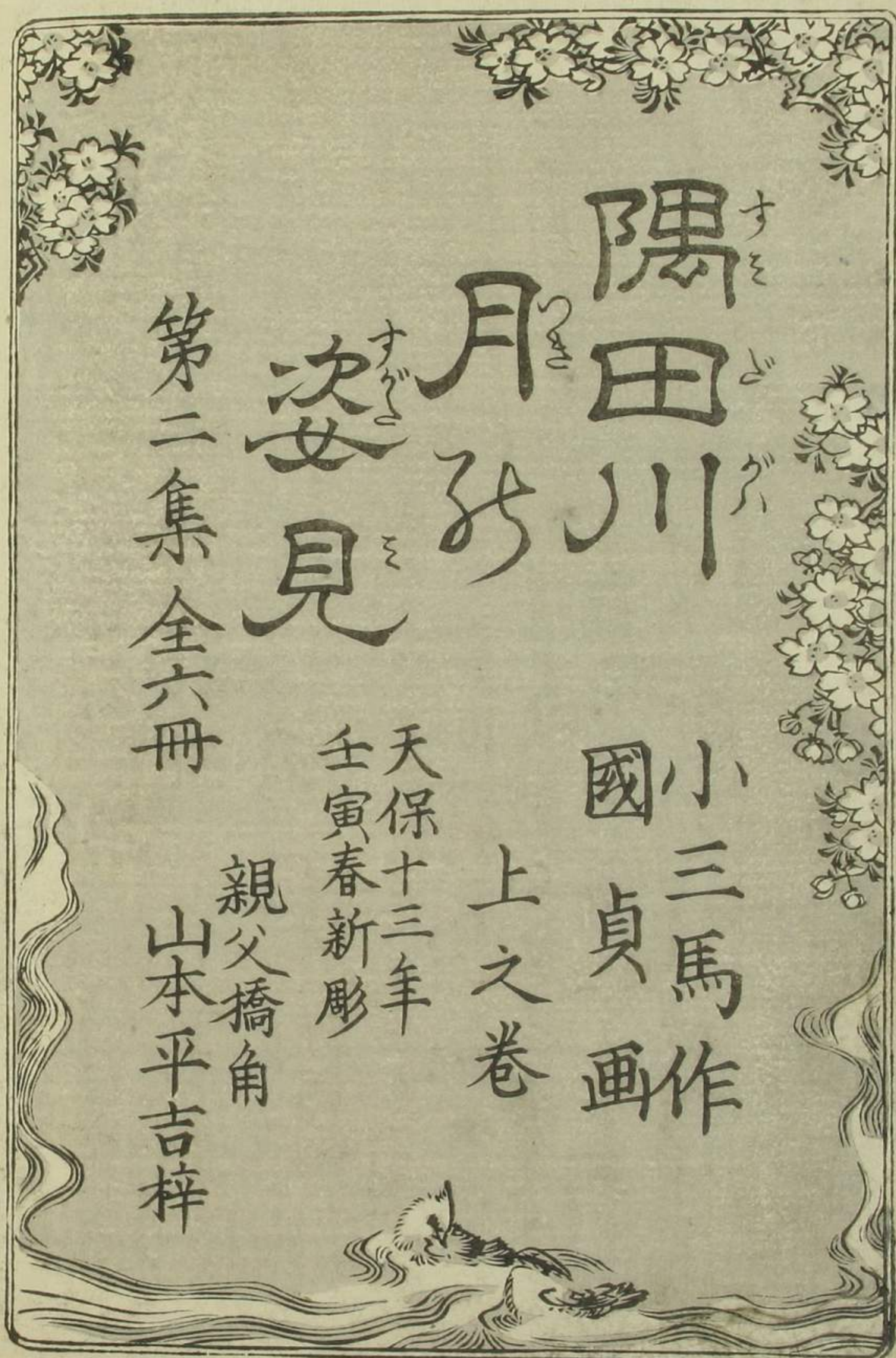
隅田川

上

榮久堂梓



天保十三年
壬寅春新彫



隅田川

月夜

次女見

小三馬作
國貞画

上之卷

天保十三年
壬寅春新彫

第二集全六冊

親父橋角
山本平吉梓



野の月隅田川の故交を吾妻の花の錦繪に寫すは劇の傍
 外中村秀鶴が名譽を踏む二面を稗史に翻して一昨年の春
 著せる信ま賣の合巻の至極賣方より町より再び二編のゆゑ
 あれど去年も俗吉又の敏糸くして筆採暇るま智恵のてらら藏拙
 の甚だ撰撰名人作者の效類單として隅田河と都鳥の古交來歴をあは
 えて博物物めを引書目所藏の文庫をそのられ白雨るる古趣向堤の
 歩行の長談義の看官があき葉の猿却笑の種本の脱稿の如何と待
 乳山日毎小春舗が閑屋の里のざあう長髪の交るる牛嶋の大人おぼ
 既ふ机は向嶋華のあや瀬お揺到て二編は是々まを田川今尚
 盛の櫻餅上旨の案のあけれども名代くと松與言まらさきかけと發
 兌を御伽の本家山本が店に一種の名物とるれ

天保十三年壬寅孟春新版

式亭小三馬題

隅田川

けのこまひめ此若衆のふと糸あてのちの
のこまひめあまをさうさうけれどさあてり画の
こえあまとの画工がこまひめあまをさうさう
さう作者のあまをさうさうあまをさう中あ
もててこののこまひめあまをさうさう
あまをさうそれを目あてるとさうさう

前の野介姫
后小露と假名を



賊首
阿狭魔多計六

柳川岸聲妓
於昭



正真の...



初人の... 正真の...

法界方の迷魂
夢中小姫の鬪房小
通支二の巻の初小あ
豊嶋の家長
関口賛三郎



故ありて假
姿男三小扮
豊嶋伯
直之助
とろ
夜
初編
委

初人

のまき... 正真の...

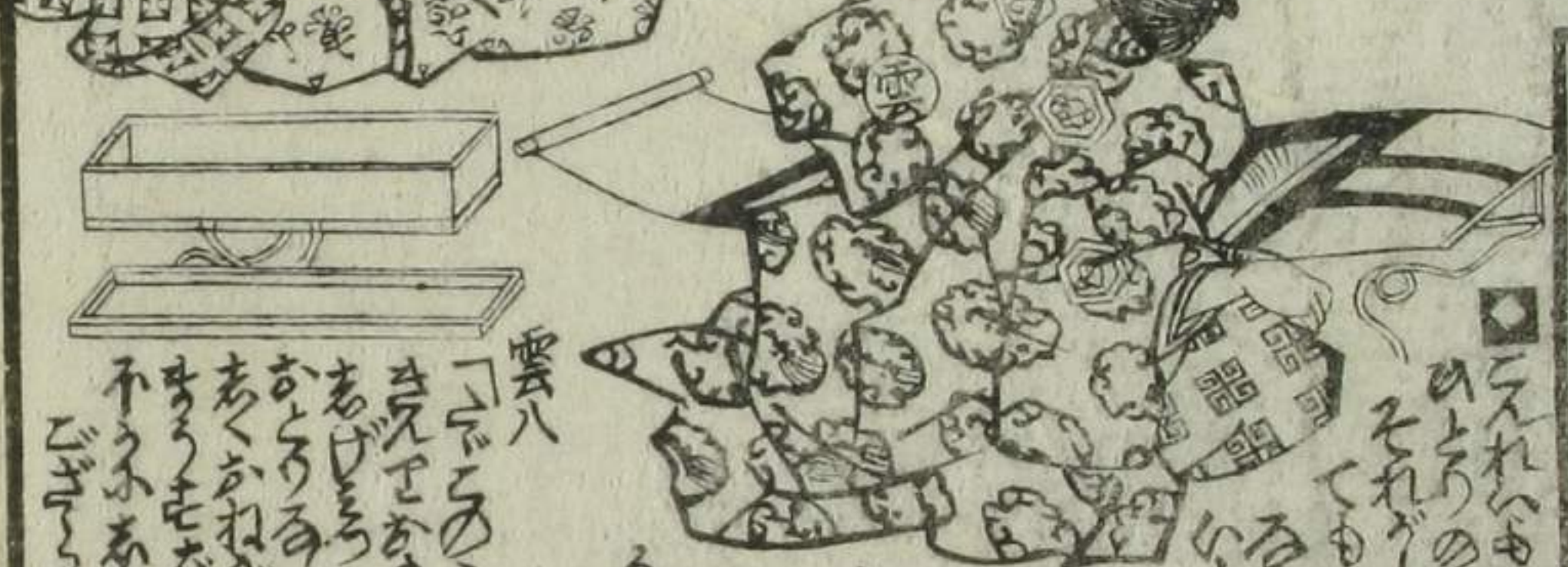
豊嶋宿直之助
久春
寂初入間男
梅千代丸
真月寺小ありの
薫之助ともり



野の
其先



國貞画 小三馬作



Multiple columns of handwritten text, likely commentary or descriptions related to the illustrations. Includes names like '清書' and '金川'.

和合 濃艶 匂水

相範 須賀 借便 水 寄 借 之
大瓶 百平文 百十文
中瓶 百文 七十二文
小瓶 七十三文 四十八文

東都 北新堀大川端町
天満屋平兵衛 所弘賣

Main body of handwritten text on the left page, providing detailed information or a narrative related to the 'Scent Water' product.



次女見

乃月

中

三浦 三浦 三浦

三浦 三浦 三浦

繪冊子の流行と

天保壬寅孟陽新版

隅田川

中巻

月夜の宴見

來客の灸



三

Red seal impression

Vertical text on the left margin

Vertical text on the left margin

Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a commentary or a play script. The text is densely packed and covers most of the page area.



Vertical text on the right edge of the illustration, possibly a title or a specific reference.

Handwritten Japanese text located below the illustration, continuing the commentary or script.



第二編

小三馬作
國貞画



下

つぎやうき今てがえつうしんをのめりま
 れのこもとあるをよびてこころをうめりま
 五アおのれあてるとあてつれてりて
 そのまをあるをうりりやとあてま
 とのちのわんをとのをあるをうり
 ああつれり「あつれり」あつれり
 まあてのちのわんをのちのあつれり
 まあつれり「あつれり」あつれり
 まあつれり「あつれり」あつれり



【おのれあてるとあてつれてりて】
 そのまをあるをうりりやとあてま
 とのちのわんをとのをあるをうり
 ああつれり「あつれり」あつれり
 まあてのちのわんをのちのあつれり
 まあつれり「あつれり」あつれり
 まあつれり「あつれり」あつれり

四方のあつれり
 あつれり「あつれり」あつれり
 かつれり「あつれり」あつれり
 そつれり「あつれり」あつれり
 うつれり「あつれり」あつれり
 まつれり「あつれり」あつれり
 あつれり「あつれり」あつれり
 まつれり「あつれり」あつれり
 まつれり「あつれり」あつれり



【おのれあてるとあてつれてりて】
 そのまをあるをうりりやとあてま
 とのちのわんをとのをあるをうり
 ああつれり「あつれり」あつれり
 まあてのちのわんをのちのあつれり
 まあつれり「あつれり」あつれり
 まあつれり「あつれり」あつれり

あつれり「あつれり」あつれり
 まつれり「あつれり」あつれり
 まつれり「あつれり」あつれり



海田川二編

十四



川二

六



